

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

事務局通信

(TEL 03-6450-1850)

2024年4月度業務執行理事会(2024.4.27)概要

1. 第44回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権(事務局)

- 開催日 2024年10月19日(土)、20日(日)
- 開催場所 東京体育館
- 実行委員長 渡辺英美
- 大会の概要 以下の視点から大会のあり方について検証し、シラバスを作成します。
 - 観客が楽しめる大会 → エンタメ性の検討
 - 観るだけでも楽しめて、ダンスの魅力を発信できる大会
→ 会員ではない人たちを集めたい
→ 観る(だけの)会員を発掘(増大)したい
→ ネット観戦でも楽しめる大会にしたい
 - ①②の結果によって会場を満席にし、ネットでの再生回数を上げたい
→ スポンサーが獲得できる
→ メディアで取り上げられる
 - ③までの各々の効果とそれらの相乗効果によって選手満足も高まる。

2. 更新指導員A級昇級試験実施内容の一部改正(指導部)

公認指導員A級昇級試験昇級試験は、予備論文、課題論文、指導実技試験及びペア実技試験からなりますが、この内、予備論文は、昇級試験への応募者人数が少なくなっている現在ではその必要性が無くなった為、行わない事とします。

3. 日本スポーツマスターズ「ダンススポーツ競技大会」開催の件(事務局)

日本スポーツマスターズ2024長崎大会記念事業「ダンススポーツ競技大会」を下記の通り開催します。

日時:2024年9月1日(日)10:00~17:30 会場:長崎県立総合体育館
主催:公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 主管:長崎県ダンススポーツ連盟
共催:日本スポーツマスターズ2024長崎大会実行委員会

4. ジュニアアスリートクラブ優秀選手選考基準内規改訂(ジュニア育成部会)

【主な理由】

- これまで、選考基準対象の競技会が主として本部主催競技会であり、一部東京都、埼玉県、神奈川県ジュニア競技会を対象としてきたが、広く全国都道府県で行われるジュニア競技会も対象としてジュニア選手の発掘・育成を全国的に図りたい。

- 2 同性同士カップルの競技が少しずつ広がり、国スポ少年の部でも採用される見込みとなり、次世代トップ選手を発掘育成する手段として同性同士カップルも育てて、未来に備えて対応するため

【主な改訂点】

- 1 ランキング選考対象競技会に「加盟団体から申請され、ジュニア育成部が認定した都道府県連盟主催ジュニア競技会(出場組数 12 組以上の場合)」を追加した
- 2 同性同士カップルのポイントも付与することとした
なお、この内規に依って毎年奨励金授与をすることとなっている。

5. 2024年度強化選手ノミネートについての報告 (選手強化部)

強化選手規程 第5条 強化選手の認定基準に基づき、2024年度強化選手ノミネートは、合計85名となりました。内訳は、次の通り。

- ① アダルト 26名 ② ユース 15名 ③ ジュニア 14名 ④ シニア 12名 ⑤ PD 18名

6. 第6回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズへのチーム派遣 (選手強化部)

第6回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズへ派遣するチームは以下のとおりです。

(1)開催地 タイ国 チョンブリ市

(2)競技スケジュール

11/23(土)スタンダード ソロダンス5種目、ファイブダンス1種目

11/24(日)ラテン ソロダンス5種目、ファイブダンス 1 種目 計 12 種目

(3)エントリー 各国最大 4 組で 1 組 2 種目まで(主催国タイは6組)

(4)チームジャパンメンバー

代表選手

- ①久保田 弓椰・徳野 夏海 組 (ラテン)PD ②山寄 圭太・石本 美奈子 組(スタンダード)PD
③小嶋 みなと・盛田 めぐみ 組(スタンダード)GD ④大西 大晶・大西 咲菜 組 (ラテン)GD

帯同スタッフ

- ①竹下 次郎(監督) ②渡辺 和昭 ③大西 早織

7. 2024年度特別強化選手選出の報告 (選手強化部)

強化選手規程 第6条 特別強化選手の認定基準に基づき、2024年度特別強化選手を下記の通り選出しました。

- (1)特別強化選手 A ランク 大西大晶・咲菜組、小嶋みなと・盛田めぐみ組
(2)特別強化選手 B ランク Tudor Andrei・吉川あみ組、

8. 2024年東京キャンプ実施計画報告 (選手強化部)

選手強化部主催の東京キャンプを下記のとおり実施します。

(1)目的 選手強化部スタッフの指導力をアップするため

(2)日程と会場

① 5月20日(月)会場:都立産業貿易センター及びDTC

② 5月21日(火)会場:都立産業貿易センター及びDTC

(3)招請する講師

① Tatsiana Lahvinovich Galchun ラテン担当

② Fabio Selmi スタンダード担当

③ Valeri Ivanov ラテン担当

④ Violeta Yaneva スタンドアード担当

(4)実施内容 グループレッスン及びプライベートレッスン

(5)その他

① 選手、他の指導者にも東京キャンプに参加できるようにしています。

9. 審判部長交代（競技本部）

5月1日付けで、佐藤隆雄氏から赤羽治氏に交代します。

10. 報奨金交付規程の制定（事務局）

オリンピック競技大会等においてメダルを獲得した者に対して、政令で定められる競技団体から交付される金品（奨励金）については、所得税が課されないことが所得税法で規定されていることから、政令に指定されるために「報奨金交付規程」を制定することが承認されました。

規程では、オリンピックで優勝した場合、最大300万円の報奨金を交付することを定めています。

11. 2024年度ブルボンDST所属選手（事務局）

今年度のブルボンDST所属選手は以下の通りです。

- ・ホワイトン謙心 ・ホワイトン夏奈実 ・今西竜矢 ・小林才時 ・小西乙愛
- ・足立拓海 ・打越聖愛 ・原澤英大 ・竹之内梨音 ・茂呂駿舞 ・今村朱里 ・藤枝大河
- ・宮澤めぐ ・鈴木伶音 ・渡辺華凜

競技会エントリー時など、本人たちもブルボンDST名称普及のため、所属を手書きで追記するよう伝えてありますが、各都道府県または関係各部署への周知などにご協力くださいますよう、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

12. ブレイキン2024年度強化選手（ブレイキン選手強化部）

2024年2月NHKホールにて開催された、第5回全日本ブレイキン選手権の結果、および前年度に日本代表選手として国際大会においてメダルを獲得した下記選手を2024年度の強化選手として指定しました。

	男	女
オープン	7	10
オープン/ユース	1	0
ジュニア/ユース	3	3
ジュニア	5	5
ユース	1	3

13. JDSF経理DX化に伴うカエルカード取得の件（財務委員会）

本連盟経理業務改善の一環として、昨年よりCaelシステムによるDX化を進めてきました。このたび本部入出金に関するCael口座開発が完了し、本年度よりCaelカードの普及を促進し、振込手数料削減などのメリット（経済的効果）を生かし、さらなるDX効果の拡大を図ることとしています。

特にJDSF会計との入出金のある役員および関係者のCaelカード取得をお願いすることになります。

また、都道府県連盟との入出金処理にも有効活用できますので、代表者会議などで説明会を実施することを検討しています。

<Caelシステム導入目的と利点>

- ① 口座設定(仮想)が自由に設定できる
 - =>この機能により入金目的別に口座が設定できる(他種類の入金と混ざらない)
 - =>入金消込状況が自動化され未入金管理がリアルタイムで確認できる。
 - =>入金後の勘定科目仕分けが自動化され直接PCA会計へ反映が可能となる。
- ② 振込手数料の大幅な削減(Caelカード利用)
 - =>送金額X0.3%(最大150円)EX 5000円X0.3%(15円)※郵便局165円
 - =>Cael以外(他行) 80円/件
- ③ 国際ブランドデビット機能、キャッシュカード機能、ポイント機能他

取得対象者:

業務執行理事19名(他 支払対象者50名) ※立替金
GD審判員(170名) ※審判会費、研修費、謝金、交通費)
PD会員(300名/審判含む)

※PD会費、審判会費、研修費、謝金、交通費)

強化選手/部員(遠征費、強化助成金支払)

開設手数料:2000円/口座 JDSF負担とする。

約500名を想定(総額100万円を見込む)

償却:一人10件振込で償却(振込削減200円)

カエル口座開設:7月末日までに依頼(部門長からの開設依頼書)

サポートデスク:カエルカード手続きならびにカエル口座設定に関するサポートデスクを設置(ホワイトカード社)し、カード開設時のトラブルの対応を図る。